

東北大学病院 新病棟の開院のごあいさつ

病院長 里見 進

東北大学病院新病棟が、文部科学省及び厚生労働省をはじめ、関係諸機関の皆様の多大なるお力添えにより、無事完成に至りましたことに厚く御礼を申し上げます。また、東北大学病院の様々な取り組みに対しまして、これまでに寄せられました数多くの温かい御支援と深い御理解に、心より感謝を申し上げます。

本院では、これまで「患者さんに優しい医療と先進医療との調和」という理念を掲げ、宮城県唯一の学術研究機能を有した特定機能病院として、近隣地域をはじめ広く県内外から厚い信頼をいただいていたところですが、高度救命救急、高度先進医療及びがん診療拠点医療機関として、なお一層の御要望や御期待に沿えられるよう、平成9年度から18年度にかけて、2期にわたる大規模な建設工事を経て、このたび新病棟の完成にいたしました。

この新病棟は1,308病床が収容可能であり、9月上旬に医学診療部門の病床が移転し、来年の2月には歯学診療部門の病床が移転することにより、完全移転後の規模は国立大学病院の単体病棟としては国内最大級となります。

また、新病棟は、狭隘な星陵キャンパスの敷地を最大限に有効活用できるよう様々な工夫をこらしておりますが、その中でも、屋上「ヘリポート」は、緊急患者搬送、災害救助活動、移植臓器移送等に大いに寄与できるものとして敷設いたしました。この他、宮城県及び仙台市の多大なる御支援の下、地域の救命救急治療に貢献できる「高度救命救急センター」、がん診療の拠点として「がんセンター」を設置いたします。

一方、皆様御承知のとおり、本院は、地域における基幹病院の一つとして位置付けられているばかりではなく、教育・学術研究を担う公的機関としても、数多くの期待が寄せられております。このような期待を受けて、院内に「東北大学 TR センター(仮称)」を開設し、高度先進医療の臨床応用拠点としての地位を確固たるものにしたいと考えております。

このように東北大学病院では、これからも多用なニーズにお応えできるよう、関係諸機関や地域の皆様との連携を強化しつつ、信頼され安らぎを与えられる病院として、また有為な医療人の育成や最先端の医療技術開発の拠点として、職員一同、なお一層切磋琢磨して参る所存でございます。今後とも、本院の益々の発展のために、皆様の特段の御高配並びに御支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。